

沖縄県立北部農林高等学校

エコ部 幻の山城茶復活チーム

時代に埋もれし幻の木 山城茶 ～今復活！もう幻とは言わせない～

高校生ボランティア・アワード2024

「沖縄戦も乗り越えた平和の木を繋ぐ 在来茶を復活させ広める」

沖縄県は復帰後まで、お茶栽培が盛んな時もあり、県内各地において栽培が行われていました。現在では本島北部を中心にお茶栽培が行われ、品評会においては日本一に何度も輝いています。伝統ある沖縄のお茶の中でも香りが高く、最高級品種にも匹敵すると言われたのが沖縄の山城茶です。1935年に茶業組合が設立され、お茶の植え付けがはじまりました。茶山開墾の背景には、当時の沖縄では、**政友派、民政派に別れた政治紛争**が繰り返され、地域が二分されていた時代がありました。地域を一つにするために茶山の果たした役割は大きく、一つにまとまる役目を担った戦後の歴史があり、茶畑は平和の象徴でもありました。しかし、生産者の高齢化や後継者不足、製茶工場の故障により、茶畑の大半が耕作放棄地となり2013年に生産が途絶えてしまいます。2020年、山城茶の歴史を地域資料で知った静岡県出身でうるま市に、コーヒーカフェを営んでいる石川さんが、ボランティアで復興活動を開始しました。茶畑は耕作放棄され、5年も立っており、草木が生い茂るジャングル状態だったそうです。週3回ほど、仕事後に草刈りを行い茶の木が見えるまで回復させました。種から植えられ育てられたお茶のことを在来種といい、国内全茶園のわずか3%しかありません。10年計画で山城茶の復興をめざしており、希少価値も高く、地域の活性化や、沖縄戦も乗り越えてきた歴史ある山城茶を途絶えさせることなく、これからの世代に残せるよう共に活動を行っています。



「未来へつなぐ結まーるの木」

沖縄戦を乗り越え、地域を一つにした伝統ある山城茶がかつて地域の宝でした。平和の象徴とも呼ばれていたお茶ですが、高齢化や後継者不足、製茶工場の故障により茶畑の大半が耕作放棄地となり、生産が途絶えてしまいます。そんな中、お茶を復活させようとする取り組みをしている県外出身の方の存在を知り、私たち地元の高校生にもできることはないのかと話し合い、連絡を取りました。「是非、一緒に活動してほしい」と快諾を頂くことができ「お茶復活プロジェクト」を立ち上げ共に活動を行っています。お茶の木を増やし、商品開発を行うことで、平和の象徴である茶畑の存在を広めるため取り組んでいます。

今、世界中において、民族紛争や、ロシアにウクライナ侵攻、イスラエルとパレスチナの紛争など、人間同士による戦いが行われています。紛争地域が、かつての沖縄にあった平和の茶畑のように、争いをなくし、地域を一つにすることができるよう「平和の木」が世界に育つよう希望し、沖縄から発信していきます。



北農後援会さんと座談会



学校評議員さんと意見交換会

実施内容及び今後の予定

- その1 (除草作業)**：茶畑が、耕作放棄地になり、草がかなり生い茂っていたため、日頃、学校の環境整備(枝打ち、緑化、草刈り)で鍛えている私たちがさえ大変な作業でした。ハブや、ハチにも気をつけながら除草作業を行いました。
- その2 (整枝作業)**：木の丈を均一にし、芽ぞろいや品質、収穫量を上げるため整枝作業を行いました。草に覆われていたお茶の木も見えるようになり、復活に向けた、第一歩を踏み出すことができました。
- その3 (実生繁殖)**：山城茶は、代々実生繁殖で茶の木を増やしてきたとのことで、種を採取し、実生での繁殖に取り組んでいます。さし穂にも挑戦し、早めに在来茶を育て、茶畑を復活させたいと思います。
- その4 (茶葉粉末)**：美ら島財団の加工施設を利用して、粉末実験を行いました。整枝作業で刈り取った茶葉を使ったため、できあがり心配でしたが、想像以上にきめ細かな粉末にすることができ、茶葉を使った新しい商品開発に取り組む事ができました。
- その5 (商品開発)**：桜と茶葉をイメージしたお菓子づくりを行いました。地元のお菓子屋さんコラボし、お土産部門で世界でNo. 1に輝いた「茶葉ちんすこう」を開発することができました。
- その6 (成分分析)**：お茶栽培を長年研究している、沖縄県農業研究センターを訪ね(農業研究センター)お茶について教えて頂きました。栽培方法、刈り取り方法、製茶方法、分析方法などについて教えて頂きました。お茶復活にむけ、産学官民連携し取り組みます。
- その7 (広報活動)**：沖縄テレビ(琉球銀行提供)GOODなNEWSを届ける取材。進路情報誌ガクアル掲載。第2回沖縄・徳島交流学习会出場(会場：OIST)

測定日	測定場所	測定方法
2024年3月19日	菓子類(スナック)	
100g当たり		
たんぱく質	54.00g	近赤外線分光分析法による計算値
たんぱく質	2.8g	
脂質	28.4g	
炭水化物	87.1g	
食塩相当量	0.0151g	ナトリウム濃度から算出
ナトリウム	6mg	イオン電極法
水分量	0.5g	湿気調整法による測定値



「未来へ残そう 貴重な茶の木から学ぶ平和とは・・・」

一粒の種からはじまる、結いまーるプロジェクト、木は、成長するのに何十年も時間がかかるため、今のうちに対策を講じないと、将来なくなってしまう可能性があります。山城茶は、収益化した際には特産品再認定を目指しており、沖縄県農業研究所や中部改良普及センター、地域の方から栽培指導を受けながら復興活動を行っています。山城茶の現状は、石川さんのカフェで飲むことが出来るようになり、茶の木は少しずつ回復してきています。しかし、山城茶の木自体はまだ少ない現状です。そのため、今後の活動としては、まず実生での栽培を広めていくこと。次にエコ部のインスタを利用して私達の活動を通し、多くの方に山城茶の存在を知ってもらえるようにしたいです。今回の商品開発を通して諦めずに試行錯誤を重ねて挑戦し続けることで道が切り開けることを学びました。この経験を活かし商品開発はもちろん、復活の芽を枯らさないよう山城茶のPR活動を続け、今後の沖縄のさらなる発展に寄与出来るよう頑張っていきます。高校生ができることは限られていますが、地域と繋がることで可能性は大きく広がりました。豊かな自然環境を残すため地域応援プロジェクトを通して、歴史ある沖縄の茶の木を途絶えさせないために**地域応援プロジェクト「未来へつなぐゆいまーる活動、もう幻とは言わせない」**を合い言葉に、これからも活動を続け、平和の象徴を美ら島から広がるお～きな輪(沖縄)として未来のEarth(明日)へ届けていきます！



北部農林高等学校 エコ部 沖縄在来茶復活プロジェクト
北部農林高校エコ部を中心に、林業緑地科、生活科学科、北部農林高等学校後援会・同窓会、与勝高校、球陽高校、tettoh coffee石川さんメンバーを含め、**平和の象徴幻の山城茶復活プロジェクト**に取り組んでいます。